

令和5年度

事業報告書

決算報告書

一般社団法人 日本ボランティアチェーン協会

令和5年度
事業報告書
(令和6年3月31日)

一般社団法人 日本ボランティアチェーン協会

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

令和5年度の事業活動の目標は、当協会の「パーパス」(存在意義)の再確認と再構築をする事を主眼として以下の6項目について計画いたしましたので、その実施報告をさせていただきます。

1. 協会の提案・伝達能力の改善 『協会運営を論議できる環境づくり』

(1) 全体会の開催

常務会・理事会だけでなく、非理事会員からの意見聴取並びに情報伝達の改善の為、非理事、各正会員事務局長も出席いただき、「全体会」を追加して下記のように開催いたしました。

第1回	理事会・全体会	4月12日	全体会参加人数	26名
第1回	常務会	5月11日		
第2回	理事会	〃		
第3回	理事会・全体会	9月7日	全体会参加人数	22名
第4回	理事会・全体会	11月29日	〃	21名
第5回	理事会・全体会	3月7日	〃	23名

参加率 理事会80%の目標に対して75%と人数にして1名及ばず
全体会70%の目標に対して理事以外平均7.5名の参加はあったが、非理事正会員の方の出席は充分とは言えなかった。
更なる、広報活動を進めていく必要があります。

(2) チェーン運営にとって参考となる正賛研究会の企画実施

年4回の開催計画をしておりましたが、年2回の開催実現になってしまいました。
今一度、賛助会員との関係づくりと正賛研究会のあり方を提案いたします。

第1回	4月12日(水)	東京国際フォーラム	ハイブリッド開催	
			テーマ:「コスト高の今改めて考える、価格の考え方とは？」	
			講師:プライシングスタジオ株式会社 取締役COO 相関 集氏	
			実参加16名 +事務局 後日 YouTube 配信	
第2回	11月29日(水)	東京国際フォーラム	ハイブリッド開催	
			テーマ:賛助会員からの提案	
			1. パーストワン株式会社 業務用空調設備のご提案	
			2. 株式会社 Linple 福利厚生サービス 社販.comのご提案	
			3. (一社) ジャパンショッピングツーリズム協会	
			インバウンド拡大に伴う中小小売業の取組について	
			実参加28名 +事務局 オンライン 24名	

(3) 総会・全国大会の実施

第58回通常総会 6月1日(木) 東京ドームホテル リアル開催

第1号議案 令和4年度事業報告案に関する件

第2号議案 令和4年度決算報告案に関する件

令和4年度公益目的支出計画実施報告

第3号議案 令和5年度事業計画案に関する件

第4号議案 令和5年度収支予算案に関する件

第5号議案 退任常務理事に対する退職慰労金謹呈の件

第6号議案 理事及び監事選任に関する件

第57回全国大会 6月1日(木) 東京ドームホテル リアル開催

第一部記念講演

講師：拓殖大学 名誉教授 根本重之様

演題：「消費と流通の今を捉え、明日を読む 2023」

第二部懇親会

会長挨拶

井原實

官庁祝辞

自由民主党 衆議院議員

甘利明 様

自由民主党 衆議院議員

小泉進次郎 様

経済産業省 経済産業大臣政務官

里見隆司 様

農林水産省 大臣官房新事業・食品産業部部長

宮浦浩司 様

乾杯 (公財) 食品等流通合理化促進機構

村上秀徳 様

参加者は158名

新春賀詞交歓会の開催

1月22日(月) 東京ドームホテル リアル開催

第一部 記念講演会

講師：リクルートワークス研究所 主任研究員 古屋星斗 様

演題：「働き手 1100 万人不足の衝撃令和の転換点後の日本の危機と希望」

講師：流通ジャーナリスト

白鳥和生 様

演題：「人財を生かす企業経営」

第二部 賀詞交歓会

会長挨拶 井原實

来賓ご祝辞

経済産業省 大臣官房総括審議官

南亮 様

農林水産省 大臣官房総括審議官

宮浦浩司 様

乾杯 日本小売業協会 会長

野本弘文 様

参加者は179名

2. ボランタリーチェーンの広報活動の見直し

(1) 協会のパーパス(存在意義)の再確認

9月7日開催の理事会・全体会を協会の「パーパス」の見直しと再確認をテーマに開催し議論を行いました。

その結果として **協会のパーパス = VCの健全な発展と普及** と考え事業を計画していく。

その為には、会員の望まない事業に関しては、長く続いた公益事業であっても見直しを行う事を確認した。

(2) パーパスとして行うべき事業体制構築

① 実態調査の見直し

現状の定量的な調査だけでなく、各VCの課題を抽出して11月29日理事会にて提案した。

正会員VCの課題BEST5は下記ようになった。

1位 人手不足、働き方改革 2位 顧客満足 サービス

3位 生産性向上 4位 少子高齢化 5位 物流危機

令和6年度事業計画の指針とした。

② 機関誌の見直し

「広報部会」を設置し、1月11日に開催し、機関誌のあり方について討議を行った。そこでまとめた案を3月7日理事会にて提案し、「掲載記事の見直し」「配布先変更」「正会員追加配布」について承認をいただいた。令和6年度機関誌発行の改革につなげる。

③ フォーラムの見直し

「拡大部会」を設置し、9月14日、27日に開催した。

そこでフォーラム改革の検討を行い、フォーラムを休止して、フランチイズチェーンショー(3月13~15日)への参加を決定し出展を行った。

参加チェーン7チェーン(リビズ、ウインク、西川チェーン、全酒協、全日食、コスモスベリーズ、ゴールドチェーン)

- ④ 研修事業の見直し 「教育部会」を設置し、少し開催が遅れたが4月18日に開催し抜本的に協会の研修事業の見直し計画を提案し令和6年度の研修計画を行う。
- ⑤ 官庁対応の見直し 経済産業省、農林水産省、中小企業庁等の行政提案事項のスピーディーな会員への共有体制を作る。
【VC連絡】として各正会員事務局へ以下のように配信した。

月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
共有	5件	9件	8件	4件	8件	7件	18件	59件

3. 人材育成のための教育研修

(1) リテールマーケティング講座

昨年まで行っていたスーパーバイザー養成講座をリニューアルし、小売店サポートに必要な知識と技能を習得するための「リテールマーケティング講座」を開催した。

各期の日程と会場、受講者数は下記の通り

- 1) 第1期/令和5年7月27日(木)～28日(金)
会場：オーラム(東京都台東区) 受講者：12名
- 2) 第2期/令和5年9月21日(木)～22日(金)
会場：オーラム(東京都台東区) 受講者：13名
- 3) 第3期/令和5年11月20日(月)～21日(火)
会場：オーラム(東京都台東区) 受講者：16名

(2) セキュリティセミナー

講師：(一社)日本情報経済社会推進協会 恩田さくら様

参加：9企業11名

- 5月17日 業務のデジタル化とセキュリティ・プライバシー対策
- 7月6日 業務セキュリティ対策の基本と情報セキュリティの代表的な脅威(前)
- 9月14日 業務セキュリティ対策の基本と情報セキュリティの代表的な脅威(後)
- 12月7日 個人情報保護法などコンプライアンスの対策

(3) ChatGPTセミナー

10月20日 リアル・オンライン併用で開催した。

講師：ジャイロ総合コンサルティング株式会社 相原宏美様

内容：AIについて(メリット・デメリット)

AIの種類について

ChatGPTの有料版、無料版の違い

参加：リアル参加7名オンライン参加327名

(4) 省エネセミナー

7月4日 リアル・オンライン併用にて開催

講師：(一財)省エネルギーセンター 鈴木伸隆様

内容：エネルギー消費の現状

省エネの勧め方

Shindan-net.jpの紹介

参加：加盟店6名本部16名

4. ボランタリーチェーンに関する調査研究

(1) 令和4年度ボランタリーチェーン実態調査の実施

VC実態調査を8月に実施した。

今回の調査対象数は189社で50社から回答を得た(回収率26.5%)。

調査結果は機関誌「Voluntary Chain」11月号に掲載した。

又、VCの課題をとりまとめて、11月29日の理事会・全体会に事業計画として提案した。

5. 時節に対応した会員共有会議

(1) 2024年問題会議

物流に課題を持つ 正会員 6 チェーン、賛助会員 2 企業が参加

第1回 4月27日 各チェーンの現状の課題と対策

第2回 6月30日 ①「物流革新に向けた政策パッケージ」のポイント

②荷主事業者・物流事業者の取組に関するガイドライン

他社事例の共有を15回にわたり実施

長距離物流の課題があった企業に対して、賛助会員のSCM共同ネットと一緒に
対応策を計画した。改善済 1社、改善途中 1社

6. 収益性と生産性の向上

以下の3項目の内部改革を目標にあげておりました

- ① 管理会計の実施 発生主義への変更を年間を通して実施した。結果、月次の収支予算対比が可能になり、毎月、社内での共有、対策と理事会での報告を行った。
- ② 職員の目標管理 評価制度導入を行い 併せて昇給ルールも制定し3月末で評価を行った。結果、職員のモチベーション向上につながった。
- ③ 安定的収益確保 酒類販売管理研修事業の拡大
目標受講者数 11,500人に対して 実績受講者数 14,970人(130%)
個別講習が順調に伸び、大きく収支改善に貢献した。

令和5年度
決 算 報 告 書

(令和6年3月31日)

一般社団法人 日本ボランティアチェーン協会

貸借対照表

令和6年3月31日 現在

(単位：円)

科目	当年度
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金及び預金	42,493,075
未収金	4,706,971
前払金	916,567
仮払金	0
流動資産合計	48,116,613
2. 固定資産	
(1) 特定資産	
退職金引当預金（定期）	694,198
特定資産合計	694,198
(2) その他固定資産	
什器備品	0
ソフトウェア	4,927,502
電話加入権	151,424
敷金	641,678
その他の固定資産合計	5,720,604
固定資産合計	6,414,802
資産合計	54,531,415
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	8,099,292
前受金	0
預り金	290,377
流動負債合計	8,389,669
2. 固定負債	
退職給付引当金	694,198
役員退職慰労金引当	0
固定負債合計	694,198
負債合計	9,083,867
III 正味財産の部	
1. 一般正味財産	
一般正味財産合計	45,447,548
正味財産合計	45,447,548
負債及び正味財産合計	54,531,415

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から 令和6年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
① 受取入会金	60,000
受取入会金	60,000
② 受取会費	33,434,000
正会員受取会費	14,113,500
賛助会員受取会費	16,730,000
部会等受取会費	2,590,500
③ 事業収益	84,127,069
広報事業収益	6,734,742
教育研修事業収益	2,579,500
酒研修(許認可)事業収益	74,812,827
④ 雑収益	82,024
受取利息	524
雑収益	81,500
経常収益計	117,703,093
(2) 経常費用	
① 事業費	74,748,878
広報事業費	13,286,031
人件費	1,571,300
諸経費	11,714,731
教育研修事業費	7,941,365
人件費	1,486,269
諸経費	6,455,096
酒類販売管理事業費	53,521,482
人件費	5,646,616
諸経費	47,874,866
(内 減価償却費)	(4,135,824)

科目	当年度
② 管理費	31,504,697
人件費	8,882,926
役員報酬	2,666,000
給料手当	2,737,091
雑給	2,678,327
退職給付費用	0
法定福利費	801,508
諸経費	22,621,771
会場費	3,761,624
会議費	4,118,211
旅費交通費	941,043
通信運搬費	395,409
消耗品費	635,671
新聞図書費	3,860
光熱水料費	296,534
賃借料	2,775,565
報酬手数料	1,508,100
諸謝金	1,040,000
福利厚生費	346,620
中小企業退職金共済	96,000
租税公課	87,977
支払手数料	3,716,002
リース料	1,127,098
研修費	0
保守料	341,252
諸会費	1,162,750
減価償却費	3
交際費	52,300
雑費	215,752
退職給付引当金繰入額	355,435
役員退職慰労金引当金繰入額	279,300
経常費用計	106,888,310
当期経常増減額	10,814,783
固定資産受贈益	0
退職給与引当金取崩額	0
税引前一般正味財産増減額	10,814,783
一般正味財産増減額	10,814,783
一般正味財産期首残高	34,632,765
一般正味財産期末残高	45,447,548
II 正味財産期末残高	
正味財産期末残高	45,447,548

財産目録(公益事業一般会計)

(令和6年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額		備 考
I 資産の部			
1. 流動資産			
1) 現金預金	42,493,075		
イ) 現金	296,441		
ロ) 預金			
普通預金	42,196,634		みずほ銀行浜松町支店 他
2) 未収金	4,706,971		FCショー出展料他
3) 前払金	916,567		4月分賃借料他
4) 仮払金	0		
流動資産合計		48,116,613	
2. 固定資産			
1) その他の固定資産			
イ) 什器備品	0		
ロ) ソフトウェア	4,927,502		ホームページ(酒)
ハ) 電話加入権	151,424		N T T(2回線分)
ニ) 敷金	641,678		
ホ) 退職金引当預金(定期)	694,198		みずほ銀行浜松町支店
固定資産合計		6,414,802	
資産の部 合計		54,531,415	
II 負債の部			
1. 流動負債			
1) 未払金	8,099,292		ソフトウェア未払金他
2) 前受金	0		
3) 預り金	290,377		職員所得税他
流動負債合計		8,389,669	
2. 固定負債			
1) 退職給与引当金	694,198		
2) 役員退職慰労金引当	0		
固定負債合計		694,198	
負債の部 合計		9,083,867	
正味財産		45,447,548	

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却については、定額法による。
- (2) 資金の範囲については、現金、預金、未収金、前払金、仮払金、立替金、未払金、前受会費、前受金、預り金及び仮受金を含める。
- (3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法は総平均法による。
- (4) 消費税の処理は、税込み方式による。

2. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	31,763,318	42,493,075
未収金	361,854	4,706,971
前払金	1,773,896	916,567
仮払金	30,000	0
立替金	0	0
合計	33,929,068	48,116,613
未払金	8,307,872	8,099,292
前受金	360,000	0
預り金	484,862	290,377
仮受金	0	0
合計	9,152,734	8,389,669
次期繰越収支差額	24,776,334	39,726,944

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,924,650	1,924,650	0
ソフトウェア	31,047,970	26,120,468	4,927,502

以上のとおりであります。

東京都台東区東上野1-2-13 カーニープレイス新御徒町3階
一般社団法人 日本ボランティアチェーン協会

(会 長) 井 原 實
(副会長) 菅 田 茂
村 内 健一郎
西 川 八一行
平 野 実
牧 野 達

以上の各項を監査致しましたところ、適法正確であることを確認します。

令和6年5月13日

監事

大久保 隆正



本田 誠一郎



監査報告

令和6年5月13日

一般社団法人日本ボランティアチェーン協会
会長 井原 實 殿

監事 大久保 隆正



監事 本田 誠一郎



私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書）について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上